

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 米子オペレーションセンター | 階数 | 2 |
| 建設地 | 鳥取県米子市上福原字中蔵池1383 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 地域無指定、法22条地域 | 平均居住人員 | 400人 |
| 気候区分 | | 年間使用時間 | 2,200時間/年 |
| 建物用途 | 事務所 | 評価の段階 | 基本設計段階評価 |
| 竣工年 | 2014年12月 0.0 | 評価の実施日 | 2014年6月1日 |
| 敷地面積 | 15,249 m ² | 作成者 | 山本将来 |
| 建築面積 | 1,746 m ² | 確認日 | 2014年6月10日 |
| 延床面積 | 2,996 m ² | 確認者 | 森宏明 |



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

3.0 1.5 BEE=1.0

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 21%

③上記+②以外のオンサイト手法 21%

④上記+オフサイト手法 21%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--------------|---|---|
| 総合 | 多くの従業員が働く事業所として、使い勝手が良くゆとりのある空間を計画。 | その他 0 |
| Q1 室内環境 | 外壁に金属断熱パネル、サッシは複層ガラスを採用。空調負荷効率化とともに快適な空間とする。 | Q3 室外環境(敷地内) 条例に基づく植栽計画。 |
| Q2 サービス性能 | 居室天井高さ2800・主廊下幅員2.0m、空間にゆとりをもった計画。従業員のための広がりフレッシュルームを計画 | |
| LR1 エネルギー | 建物屋上にトップライトを設け、自然光を取り込む。 | LR3 敷地外環境 外構には広大な駐車場を設け、周辺地域への交通負荷制御 |
| LR2 資源・マテリアル | 節水器具などの採用により、資源保護を図る | |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい